

2018年

7月14日土 - 9月16日日

◆開館時間/10時-17時(入館は16時30分まで)

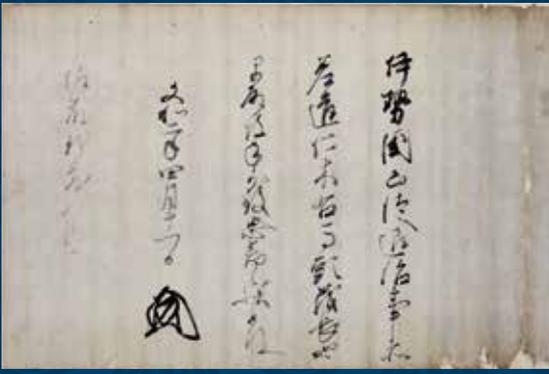
◆休館日/毎週月曜日(但し祝日の場合は翌日:7月16日(月・祝)は開館、翌17日(火)は休館)

※9月17日(月・祝)は休館

◆入館料/一般500円「400円」・学生300円(高校生以上)

※「」内は20名様以上の団体料金

◆主催/公益財団法人石水博物館



1.



2.

いずれも重要文化財「佐藤家文書」のうち

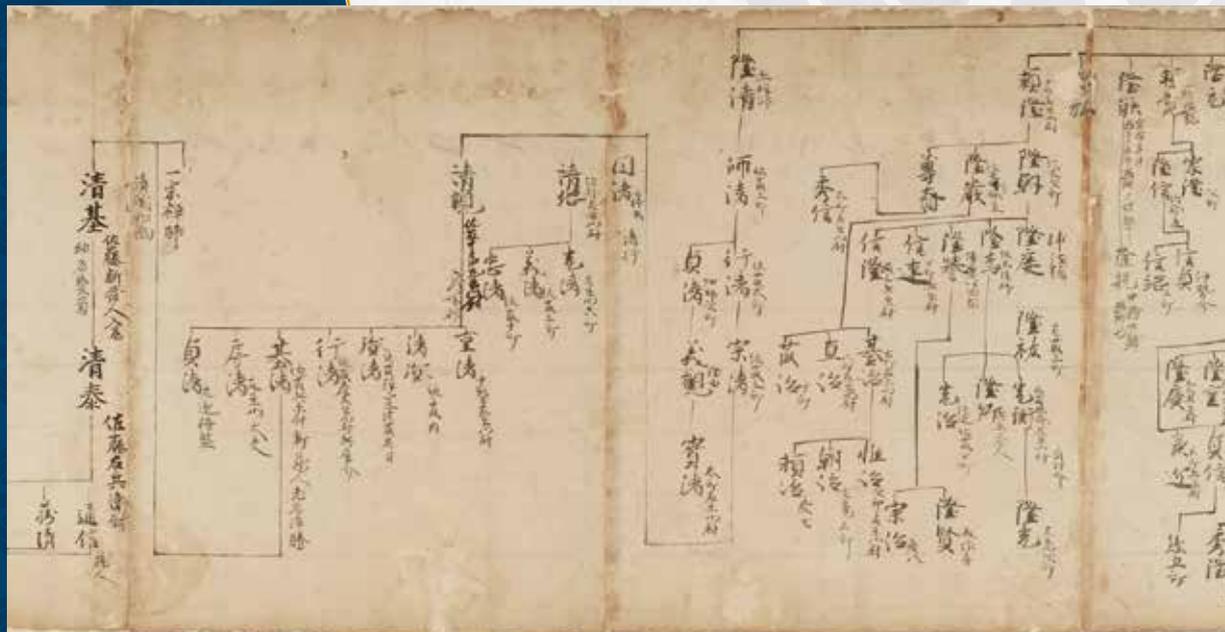
1. 足利義詮軍勢催促状 (佐藤元清宛)
2. 後村上天皇繪旨 (佐藤元清宛)
3. 佐藤系図 (追加指定)

新収蔵・修理完成記念展

重要文化財

「佐藤系図」

とその周辺



3.



3.

「佐藤系図」とその周辺

重要文化財

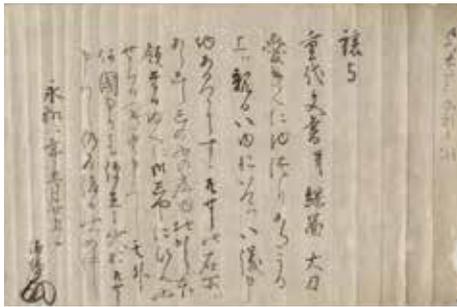
新収蔵・修理完成記念展



1. 佐藤系図の保存箱
 2. 重要文化財「佐藤家文書」のうち浄勝譲状
 3. 津八幡神社祭礼絵巻
 4. 古伊賀瓢形水指
 5. 唐人踊の面
 6. 三重県指定文化財 柿本人麿像 曾谷勝美筆・谷川士清賛
 7. 山水花鳥人物図押絵貼屏風 曾我蕭白筆 六曲一雙のうち左隻
- ※すべて館蔵

「佐藤家文書」は、伊勢国一志郡肥留（現三重県松阪市）の佐藤家に伝来した、質量ともに三重県内屈指の中世武家文書です。石水博物館は、川喜田半泥子が入手した「佐藤家文書」7巻（平成22年度重要文化財指定・25年度修理完成）をかねてより所蔵しておりましたが、「佐藤系図」とその関連資料は、近年佐藤家からご寄贈いただき、「佐藤家文書」本体との一体化が叶った史料で、平成28年度に重要文化財に追加指定され、翌29年度に修理が完成しました。

本展では、受贈・重文指定・修理完成の報告を兼ね、「佐藤系図」と新収蔵史料を初公開いたします。あわせて、重要美術品や三重県指定文化財を中心に、石水博物館が所蔵する地元ゆかりの文化財を展示します。



2.



7.

ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

日時:8月10日(金)、9月16日(日) 各日14時より30分程度

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
※参加費は無料ですが、当日の入館料が必要です。

同時開催 (第2展示室)

所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

次回展覧会

生誕140年記念特別展

《川喜田半泥子と乾比根会—豊蔵・休和・陶陽 陶友たちとの桃山復興—》

会期:9月21日(金)～12月2日(日)

展示替休館

9月17日(月・祝)～20日(木)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(角に緑の看板あり)を左折、約300m 先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 **石水博物館**

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

第1展示室

新収蔵・修理完成記念展
重要文化財「佐藤系図」とその周辺

2018年7月14日(土)～9月16日(日)

出品目録

番号	作品名	作者・員数など	年代・素材など	備考
◎1	浄勝譲状	1通	永和4年	新収蔵
◎2	佐藤系図	1巻	南北朝～江戸時代	新収蔵
◎3	佐藤家文書	7巻58通のうち	南北朝～戦国時代末	
4	伊勢一志郡紀州領白子支配日留三郷之略図	1鋪	弘化5年写	新収蔵
●5	大友宗麟書状(宗切宛)	1幅	室町時代・紙本墨書	
●6	豊臣秀吉書状	1幅	桃山時代・紙本墨書	
●7	狩野永徳書状(寿謙宛)	1幅	桃山時代・紙本墨書	
8	山水花鳥人物図押絵貼屏風	曾我蕭白筆・6曲1双	江戸時代・紙本墨画	
○9	古伊賀水指 銘「鬼の首」	1口	桃山時代	
10	古伊賀瓢形水指	1口	桃山時代	
○11	『和訓栞』稿本	谷川士清編、7巻7冊	安永3年以前成立	
●12	『万葉集疑問』	芝原春房問・本居宣長答、2冊	寛政8年写	
13	『東西蝦夷山川地理取調図』	松浦武四郎著、28鋪	安政6年刊	
14	『蝦夷漫画』	松浦武四郎著、1冊	安政6年刊	
15	『久摺日誌』	松浦武四郎著、1冊	文久元年刊	
16	『天塩日誌』	松浦武四郎著、1冊	文久2年刊	
17	『納沙布日誌』	松浦武四郎著、1冊	文久3年刊	
18	『後方羊蹄日誌』	松浦武四郎著、1冊	文久元年刊	
19	『石狩日誌』	松浦武四郎著、1冊	文久元年刊	
20	『千島一覽』	松浦武四郎著、1鋪	明治3年刊	
21	津八幡神社祭礼絵巻	1巻	江戸時代・紙本墨画淡彩	
22	唐人踊の面	3面	江戸時代	
○23	柿本人麿像	曾谷勝美筆・谷川士清賛、1幅	明和3年・絹本着色	
24	柿本人麿像	柴田常昭筆・本居宣長賛、1幅	寛政5年頃・紙本墨画淡彩	

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。

※◎＝重要文化財、●＝重要美術品、○＝三重県指定文化財

第2展示室

所蔵品展
川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品

2018年7月14日(土)～9月16日(日)

出品目録

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
1	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	川喜田半泥子	昭和16年頃・千歳山窯	
2	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子	昭和15年・千歳山窯	
3	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	8月26日まで展示
4	焼締茶碗 銘「さび柿」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	8月28日から展示
5	御所丸風茶碗	川喜田半泥子	昭和13年・千歳山窯	
6	白掛茶碗 銘「天の川」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
7	粉引手茶碗 銘「夕立」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
8	刷毛目茶碗 銘「土用波」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
9	織部黒茶碗 銘「暗香」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	藤田コ
10	志野茶碗 銘「不動」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
11	黒茶碗 銘「すず虫」	川喜田半泥子	昭和10～20年代	寄託作品
12	井戸手茶碗 銘「鳳」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	新寄託作品
13	黒茶碗 銘「無茶太郎」	川喜田半泥子	昭和15年・千歳山窯	
14	浜木綿図	川喜田半泥子筆・自賛	絹本淡彩	
15	花瓶図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	藤田コ
16	蓮の葉仏図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画	藤田コ
17	秋茄子図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	
18	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
19	粉引手茶碗 銘「きもやきむすこ」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	藤田コ
20	井戸手茶碗 銘「ひばり」	川喜田半泥子	昭和16年・千歳山窯	
21	井戸手茶碗 銘「みざわ」	川喜田半泥子	昭和16年頃・千歳山窯	
22	焼締茶碗 銘「猿のしり」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
23	絵唐津手茶碗 銘「あひるの子」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品
24	刷毛目茶碗 銘「鮑」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
25	呼継茶碗 銘「いざよい」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
26	刷毛目茶碗 銘「旅衣」	川喜田半泥子	昭和32年・廣永窯	
27	呼継茶碗 銘「ねこなんちゅ」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
28	灰釉茶碗 銘「これはしたり」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	寄託作品
29	片身替茶碗 銘「布袋和尚」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
30	黒茶碗 銘「三保の夜」	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	
31	志野彼岸花絵水指	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
32	四方香合・蛙香合	川喜田半泥子	昭和27年・廣永窯、桐	
33	黒釉茶入 銘「俄雨」	川喜田半泥子	昭和20年代・廣永窯	
34	竹茶杓 銘「浦の家」	川喜田半泥子	昭和20年・竹	
35	桃園	川喜田半泥子筆・自賛	昭和21年・紙本墨画淡彩	
36	南瓜図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画淡彩	
37	半泥子行水図	川喜田半泥子筆・自賛	昭和30年代・紙本墨画	藤田コ
38	千歳山の墓図	川喜田半泥子筆・自賛	昭和33年頃・紙本墨画	藤田コ

茶席

番号	作品名	作者など	窯・年代・素材など	備考
39	書「鳥道無跡」	川喜田半泥子筆	昭和30年代・紙本墨書	藤田コ
40	竹一重切花入 銘「山法師」	川喜田半泥子	昭和16年頃・竹	
41	砥部焼茶碗	川喜田半泥子	昭和20年代・松山砥部の窯	寄託作品
42	伊賀水指	川喜田半泥子	昭和10年代・千歳山窯	

※備考に表記のない作品や資料は館蔵。

※備考欄の「藤田コ」は、藤田等風コレクション(平成23年寄贈)。